

議会だより



きよしま米 田植えの準備はじまる（加美区山寄上）

3月定例会

- **多可町の財政は大丈夫？** ▶ 2～
- **老朽化バスを新しくします** ▶ 6～
- **通学路の安全確保** など11人が質問 ▶ 12～
- **お医者さんが減っていく** ▶ 23～

借金返済のピーク

3月定例会は、3月5日から27日までの23日間の会期で開かれました。平成19年度予算案審議は、議長を除く17名で予算特別委員会を設置し、慎重に審議しました。提案された議案はすべて原案のとおり可決されました。

緊縮型予算でスタート

一般会計予算は、19年度、22年度に地方債償還が集中することから、プライマリーバランス（多可町は13・8%）を重視、中長期を展望して、対前年比10%減額を目標にしました。

しかし、杉原谷小学校の大規模改修工事などの大型投資児童手当の増、乳幼児医療費制度の対象者の期間を県の制度を受けて、町も措置したなどの結果、総額117億7、

800万円、前年度比2億6、123万円、2・3%増となっています。

けれど、18年度は、17年度最終補正で、中町中学校の耐震補強・大規模改修にかかる予算3億1、120万円を計上。その全額を18年度に繰り延べて執行したので、実質的には、5、000万円の減額予算になります。

町税は、景気動向好転を予測し、約11%増の20億8、9

67万円を見込んでいます。

地方交付税は昨年同様、地方譲与税やその他の交付金等の増額も予測できず、すべてを合わせても、20%の不足が見込まれます。

そのため、新規起債と基金からは22億5、000万円繰り入れます。



新しい校舎に生まれ変わります 杉原谷小学校

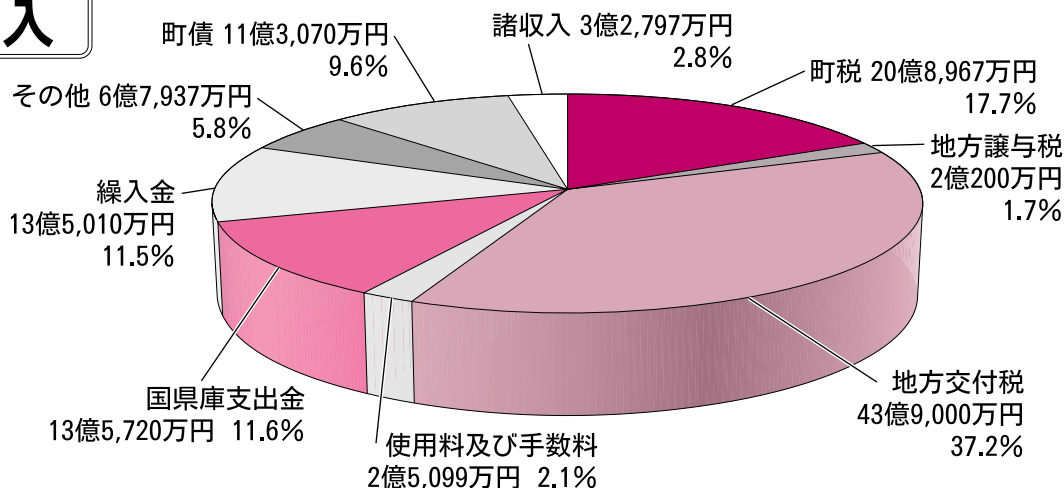
予算総額は209億2,500万円

トップ占める民生費

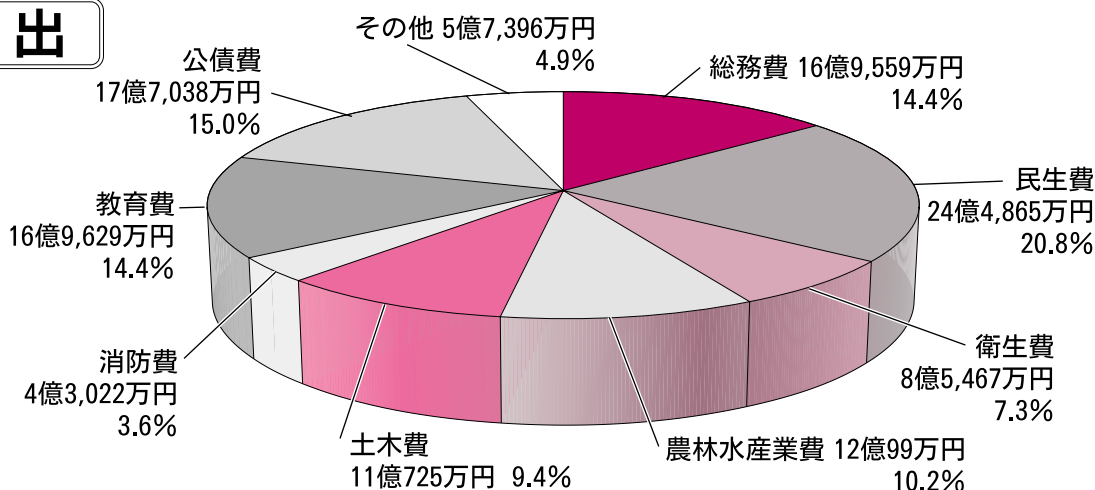
一般会計

117億7,800万円

歳入



歳出



特別会計

91億4,784万円

国民健康保険特別会計	23億6,030万円
老人保健特別会計	23億4,452万円
介護保険特別会計	19億0,839万円
学校給食事業特別会計	2億4,099万円
診療所事業特別会計	1億5,668万円
住宅資金貸付事業特別会計	955万円
財産区特別会計	513万円
宅地造成事業特別会計	2,914万円
下水道事業特別会計	13億5,984万円
簡易水道事業特別会計	3億6,980万円
水道事業特別会計	3億6,350万円

住民一人当たり

(一般会計のみ)

貯金に当たる調整基金
19万8,909円
(1世帯当たり)
67万5,180円
借金に当たる地方債残高
76万4,252円
(1世帯当たり)
259万4,187円

新規事業として

- ・地域医療フォーラムの開催や、医師不足解消に向けての地域医療対策。
- ・後期高齢者（75歳以上）の医療制度が平成20年度から新しくなるための準備事業。
- ・18年度に策定した地域防災計画・洪水ハザードマップを有効に活用できるように、全町レベルで防災訓練を実施。
- ・勤労者住宅資金貸付制度ができます。

多可町の勤労者の方々に、結婚などで増改築が必要になったときに、貸付支援をしてもらえるよう労働金庫と契約を結びます。

・農業後継者の不足による農地の荒廃を防ぐため等、集落共同で保全する一定の取り組みに対し、助成金を交付するなどの営農活動支援事業のほかがあります。



ガイドを持って防災訓練に行きましょう

乳幼児等の医療費助成拡大へ

乳幼児等に対する医療費助成を重点化。少子化対策を一層推進するため、4月より助成の対象を、通院・入院とも小学3年生まで広げます。

事業費8,900万円です。

順次調査進める

19年度の地籍調査は、加美区西山地区の集落内と鳥羽地区の山林・中区門前地区の集落内・八千代区下村地区の山林で調査します。

建て替え工事進む

町営奥中団地、第3期建替工事10戸分を2億6,160万5,000円で実施します。

2戸1建が3棟と、1戸建が4棟です。

特別会計

特別会計10会計の総額は、87億8,434万円、前年度比3億8,011万円、4.5%増となっています。

主な要因は、国民健康保険特別会計および介護保険特別会計の増大と、簡易水道事業・下水道事業特別会計の事業量増によるものです。

また、企業会計である水道事業特別会計は、3億6,350万円、前年度比3,008万円、9%の増です。

新しい入り口ができます

八千代診療所運営業務委託料・診療業務委託料として1億1,430万円。

併設する高齢者交流施設の一部である世代間交流室を、診察室と点滴室とに模様替えすることで診療業務を改善し、診療所側へ入口を新設、交流施設のホールと診療所を分けます。その工事費は957万円です。

個人負担はそのまま

・学校給食事業
総事業費2億4,099万円です。各家庭での負担は中学生230円、小学生200円、幼稚園195円です。

給食の提供方法は、今年度も旧3町の施設ならびに体制での継続になります。

なお、学校給食センター施設は施設老朽化も含め、統廃合による効率化が急がれます。

緊急時も安心 診療所事業

総額1億5,668万円。
松井庄診療所では、緊急用の自家発電機を300万円で購入します。

杉原谷診療所ではエコー検査装置のプローベを100万円で購入します。

19年度予算は、次のような
討論がありました。採決の
結果、賛成多数で可決しまし
た。

反対討論

事業の精査は

なされたのか

高澤栄子

緊縮財政といいつつも、予
算は昨年の3・3%増。基金
からの取り崩しや起債に頼ら
ざるを得ない現状は、財政危
機と認識すべきですが、全体
的に事業が総花的で、事業の
精査はなされているのか疑問
です。

バイオマスタウン構想の策
定費についても、もっと足元
を固めてから計上すべきです。

きびしい目で チェック

予算特別委員会

問 公用車の削減状況はどう
ですか。

答 合併時114台でしたが、
今現在103台（通園バス、
トラック等を含む）になっ
ています。

問 合併によって縮小したり、
なくした事業の中で、全町の
運動会が現在検討中とのこと
ですが、意義があるのですか。
答 運動会は、今後検討して
いきます。

問 子ども議会に議題として
あがったからといって、予算
化するのはどうでしょうか。

答 今までに議会でも指摘さ
れたことも多く、予算化もし
ていますが、子ども議会でも
出たことなので、子ども議会
費と通常事業費とに分けまし
た。

問 間伐材を、木質バイオマ
スのチップ以外に活用できな
いのですか。

答 道の駅でも、間伐材を利
用したものを売っていますが、
大々的ではありません。今後
の課題です。

問 職員の意識改革が遅れて
いるのでは。

答 職員は、最初から公務
員がほとんどで、民間の感覚
が分かりにくい状況です。も
ちろんそれでは済まない社会
状況です。自らが変わるとい
うことを、自らの組織の中で
民の部分の研修をしながら徹
底していきます。

問 担い手農業の担い手とは。
答 担い手とは、農業を集積
して、その収益が一般的な給
与所得者と同等の収益が上げ

られる農業者（認定農業者）
と、みんなで共同して機械や
出役で効率的に利用し、コス
トを低減をするなどの要件を
満たした集落営農組織です。

問 町内各小中学校の校庭で、
最終下校時間まで、安全に遊
べる放課後子どもプランの取
り組みは。

答 今年から導入する国の事
業です。
週1回の開催を予定、2名
の安全管理員を配置し、安心
して遊べる場所を確保します。



担い手確保がむずかしい

補正

バスが新しく

・庁用バスが非常に老朽化し、運行にも支障が出はじめているので、新しいバスを960万円で購入します。市町交付金を充てます。19年度に繰り越して購入します。

・松井・杉原谷両小学校に、教育用コンピュータ134台やソフト・デジカメ等を、3,539万円で購入します。

・合併補助金によるベースマップや住宅地図等を導入するため、GISシステムを取り入

れます。構築事業費は5,300万円を増額し、19年度へ繰越します。

・非常勤消防団員の制服を統一するため、1,300人分の制服と防火服購入します。

1,319万円を増額します。

・水田農業構造改革対策事業補助金として200万円増額します。町単独事業の転作補助金の不足が生じたためのもので、

・八千代区マイスター工房八千代朝市施設建設の費用として、100万円を追加します。財源は基金を取り崩します。



長い間お疲れさま

3月補正予算

歳出		補正額	補正後の額
一般会計	議会費	△275万円	9,501万円
	総務費	2,575万円	18億0,545万円
	民生費	△1億1,857万円	21億5,528万円
	衛生費	△3,033万円	8億5,442万円
	労働費	△31万円	508万円
	農林水産業費	△1億0,714万円	11億9,485万円
	商工費	△767万円	2億1,786万円
	土木費	△1億8,197万円	13億9,838万円
	消防費	△2,099万円	8億6,876万円
	教育費	△7,687万円	14億2,880万円
	災害復旧費	517万円	1億4,912万円
	公債費	1,323万円	16億2,033万円
	諸支出金	6,123万円	1億3,585万円
	歳出合計	△4億4,123万円	119億3,023万円
特別会計合計	△1億2,521万円	63億3,760万円	

・森林組合が導入する林業機械(スイングヤーダー、トラック)購入の補助として10%、318万円を追加します。

・市町交付金事業として、AED室外設置ボックスを44万2,000円を追加し、計91万4,000円で10基購入します。

・農村環境改善センターに市町交付金事業で展示用パネルを設置します。パネル購入に55万7,000円を追加します。

下水道特別会計

・公共下水道処理施設として190万円を増額します。

下水マンホールのまわりが沈下したので、交通安全上も緊急の修理が必要となりました。11カ所を修理します。

・中区牧野雨水幹線工事を200万円増額します。汚水管の移設に伴い水道管の移設等も必要となったためです。

簡易水道特別会計

・施設管理費として、加美・八千代の漏水修繕の不足と、それに伴う舗装費用124万円を追加します。

条例

○多可町総合計画・基本構想が決まりました。

この計画は、将来の多可町目標像と、その実現のために求められる自助・共助・公助の取り組み方針を示すもので、多可町のまちづくりの指針となります。計画期間は、平成19年度から平成28年度までの10ケ年です。

○地方自治法の一部改正による関係条例の整備

助役を副町長に改め、収入役は廃止します。

○多可町福祉医療費助成条例の一部改正

今まで医療費助成の対象が6歳までだったのが、平成19年4月1日より、9歳(小学生3年生)までとなります。

○多可町国民健康保険条例の一部改正

今まで2万円だった葬祭費を、3万円にします。

その他、9件の条例の制定・一部改正、そして9件の規約の変更などがありました。

工事請負契約

工期が変更の提案翌日というところに意見が集中し、議会軽視と誤解されても仕方ないなど、議会に提案することの重要性を問う質問が出ましたが、賛成多数で可決しました。加美町木質バイオマスエネルギー利用施設工事

契約金額 5,981万7,450円

請負業者

加美区蒼荷 ㈱イマナカ

工期 平成19年3月20日まで

反対討論

財政難なのだから

工事は安く

辻 誠一

この議案は、3ヶ月間閉館して、4,977万円で工事をを行うのか。それとも数週間の閉館で済む5,981万7,450円の工事を行うかが議題です。

財政難を住民に訴える一方で、議会にも諮らずに1,000万円あまりのお金を勝手に使う。このようなやり方を、承認することはできません。

工事のあり方など
基本的におかしい

高澤 栄子

本工事については、本来なら周囲の保安林解除等、まず最初にやるべきことが後手にまわるなど、不手際が目立ちます。

その上、工事の終了を目前にしての、議会への上程は、議会無視もはなはだしい。

工事追加内容の詳細についても資料不足ではつきりせず、20%の追加費用も多すぎます。

反対のための

反対ではない

池田 義孝

追加工事とは言っても、1,000万円からの工事です。何の判断基準も示さず、もう工事は完了しそうなので予算を認めると言っても無理です。明細を示して納得させてもらいたい。それにもともと落札率100%など信じられませんが、反対のための反対をしているわけではありません。

賛成討論

利用者の立場で

河崎 一

保安林内作業許可に不測の時間を要したこと、ならびにプールの長期閉館との調整の中で、施設の位置変更がありました。

それによって、工期が遅れ、契約変更の提案も遅れてしまったということですが、

委員会としても、これらについて質問し、了解しました。

経過として致し方ない

竹本 克之

隣地の山林（豊部共有林）に設置予定で村も関わりませんでした。防災林指定解除に相当期間を要し、結果現有地となり難工事が余儀なくされ、単価上昇と施設変更で高額となったのは理解します。多くの利用者や住民が求めている施設につき、議会提起遅れは認めませんが、契約変更には賛成しません。

議員報酬条例の改正

特別職報酬等審議会の答申を受け、議員の報酬を一律2万円増額するものです。質疑・討論の結果、賛成多数で可決しました。

反対討論

汚いやり方だ

池田 義孝

人員削減や職員給与引き下げ等、厳しいことを言い続け、これからも言わねばならぬのに自分だけは別、では行革も頓挫してしまいます。最初から結論ありきの強引手法であり、4月1日からなどだましに近い。こういう手法には断じて反対です。

引き上げることは 今は絶対ダメ 大西多津子

3町合併は、住民の好むと好まざるの現実です。その上、また緊迫した財政難でもあります。その実態は職員の削減が叫ばれ、また職員給与、時間外勤務、残業手当の削減もやらなければいけない、心痛む財政状況であります。そこでわれわれ議員の報酬を引き上げることは、会社経営上でも通用しません。

賛成討論

答申を真摯に受け止める

河崎 一

変わりつつある自治体の使命、議会のあり方について、今後執行機関とともにお互いが自己改革をしながら、あるべき21世紀の自治体像を探っていきたい。併せて信頼と成熟の議会をどう形成していくか、審議会の答申を真摯に受け止め、住民付託に応えていかなければならないと考えます。

審議会答申の重みを尊重

清水 俊博

実施時期等論点、評価は様々ですが、町内の団体代表並びに有識者の皆様で構成され、長期間慎重かつ、十二分に審議の上提出された今回答申。その重みを最大限尊重すべきものと判断します。あわせて今後、政治をめざす若人の登竜のための条件の一つをも整備するものと確信します。

委員会の

う

ご

ま

議会の3常任委員会、1特別委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。主な審議内容を報告します。

総務

どうするCATV

1月24日

企画情報課

・CATVの整備に関して

問 ①新規敷設は既敷設分と接続可能か。新規分はだれが、どの程度に敷設するのか。

ケイ・オプティコムは難視聴地域へ特別敷設の可能性はあるのか。

②CATV整備に関し将来、携帯系(個人単位)放送および通信普及に貢献が見込めるか。

答 ①接続は可能。可能な限り民設で全地域敷設を目指します。

②ブロードバンド無線アクセスの進化が考えられ光ファイバーを軸に組み合わせの構図が有力です。

大きな投資が必要なたけに難視聴解決のみでは済まされません。税投入の観点から加盟不必要や不可能住民も納得する整備が必要です。



事典片手にごみ出しを

厚生

請願

リハビリテーション打ち切りの調査と改善のための請願

請願者

兵庫県保険医協会

理事長 池内春樹

支部長 大杉幸男

審査経過

本請願は、厚生常任委員会に付託され、会期中に内容を審査した結果、全員一致で「採択」すべきと決定しました。

本会議ではその請願の趣旨に基づき、意見書を採択し、国および関係機関に提出しました。

意見書

リハビリテーションの診療報酬制度に関して調査と改善を求める意見書

昨年4月の診療報酬改正でリハビリテーションは4疾病領域だけを対象とし、その算定日数上限が設定された。そのため患者等のリハビリサークルなど自主的な取り組みが病院側の都合で取りやめになるなど、きわめて深刻な事態となっている。病院経営や理学療法士等の専門職にも大きな影響を与えることを危惧し、緊急な対応を要望する。

給食センター統合は必要

2月15日

教育委員会

中・加美・八千代の給食センターを視察。衛生に關し3センターとも職員意識は高く良好に思えます。ただ、施設に新式、旧式の差があり調理可能数、その他効率上の点から近々に統合する必要があります。

総務課・税務課

税源移譲により町民税4,000万円増を含み2億1,000万円の増額。しかし所得譲与税がなくなるので約2,300万円の増額しか見込めません。年間課税標準額が200万円以下の納税者が77%にも達しています。町民税はますます減っていくと予想されます。交付税は基本的に変わらないが、国が絶対額を減らす方向性は変わっていません。



おいしい給食運びます（中区給食センター）

指定ゴミ袋制度始まる

2月20日にみどり園議会が開かれ、4月1日からゴミの収集方法が変わることが、賛成多数で最終的に決定されました。

多可町議会からは副議長と厚生常任委員会の正副委員長がみどり園議会に参加しています。

みどり園議会に参加している町会議員からは、先進地である赤穂市の失敗の教訓に学び、「あくまで可燃ゴミ以外は拠点回収にするべき」との意見や、「住民が慣れるまでの間は、本来出していないゴミが含まれる可能性もあるが、ゴミを置き去りにすることなくしっかりと回収すべき。」との意見が出され、不具合があれば年度後半に調整する事になりました。

年金のみの生活者の

国保税引き下げへ

厚生常任委員会では、2月に国保運営協議会から出された答申を受けて、現在固定資産税に課税されている国保税率を引き下げる方向で検討しています。

現在多可町の国民健康保険税は、世帯と加入人数に一定額を、所得、固定資産税額にそれぞれ税率を掛ける方式を採用しています。

請願

療養病床の廃止・削減計画を中止するための請願

請願者

兵庫県保険医協会

理事長 池内春樹

兵庫県保険医協会北播支部

支部長 大杉幸男

審査経過

本請願は、厚生常任委員会に付託され、会期中に内容を審査した結果、全員一致で「採択」すべきと決定しました。

本会議ではその請願の趣旨に基づき、意見書を採択し、国および関係機関に提出しました。

意見書

療養病床削減計画を中止し、安心してきる医療・介護・福祉の基盤整備を求める意見書

療養病床に入院しておられる方が安心して医療・介護・福祉を受けられるためには、現在の施設・制度の一層の拡充が不可欠であり、そのための基盤整備が急がれる。政府は緊急に対応されるよう要望する。

産業建設



建設中の奥中団地

線越工事について

①町単独事業 豊部上嶋谷川河川改良工事

宮崎・岡山両県で鳥インフルエンザが確認され、国より緊急消毒指示、当該現場へ立ち入ることができないため。

②町道豊部熊野部線道路改良工事

土地の売買契約、所有権移転登記が遅れ、工事発注も遅れました。

行政改革

「多可町改革プラン」等を

調査

①新たな指定管理者指定の件

②19年度各種補助金の件

③集中改革プラン制定の件

1) 指定管理者指定の件

今回新たに青年の家施設、温水プール施設などを4月1日から5年間、指定管理者へ移管します。大阪所在の(株)エヌ・エス・アイに決定しました。関連事項調査を実施。移管による約571万円の節減等その効果は認識しますが、従事している町職員の適正な配転並びに、より広範な募集のあり方等、一層効果のある改善事項を具申しました。

2) 19年度各種補助金は

総額では約8億5000万円と前年比較で1億1,000万円11・7%減であること。

その要因として、兵庫国体等の時限的補助並びに一律減額査定等によるものがあります。

委員から「杉原紙全国発信事業」等新規事業について費用対効果、事業根拠について意見があり、年間700万人も参拝客がある伊勢神宮において「杉原紙着物ショー」を通じ本町のPRはもちろん、素材としての「杉原紙」の可能性をも探る企画であること。なお、今後の新規事業は起業時期

第10回臨時議会

1月30日

多可町の、公の施設の指定管理者が決まりました。

施設名

- ・青年の家「エコミール加美」
- ・林業者休養施設「悠遊館」
- ・多可町立温水プール「サンスイム・カミ」
- ・加美運動公園及びサン・スポーツランド加美
- ・大平キャンプ場

指定管理者 (株)エヌ・エス・アイ(大阪市)

指定期間 平成19年4月1日から

平成24年3月31日まで



青年の家

温水プール



- ③大河丘陵ふれあい道路第1工区舗装新設工事
砕石運搬時にほこりが凍りこんでよくに付着する恐れがあるため、凍りこんでよくが完了するまで、工事を一時中止。
- ④まちづくり交付金事業
 - ・奥中団地建替工事
 - ・野田団地建替工事
 県の設計審査に時間を要し、補助金の決定が遅れたため。

産業振興課

- ①大河丘陵ラベンダー園第1期整備工事および大河農村公園整備工事
保安林区境界確定に時間を要し、県の林地開発許可が遅れたため。
- ②山寄上辺地総合整備計画事業
集落営農組織の立ち上げに不測の時間を要したため。

災害関連

- 花の木谷上池（西安田）
災害復旧事業と町単独事業の合併での実施になったことにより、地元との調整・設計に時間を要したため。

はもとより終業時期も視野に置いた、事業計画となるよう意見提起をしました。

3) 集中改革プランについて

改革項目を数値化し、21年度までに改革を実施するものです。

- ①事務事業の再編・整理②民間委託の推進③定員管理の適正化④給与・手当の適正化⑤三セク等の見直し等積極推進を明記した「多可町集中改革プラン」です。数値化並びに具体的な工程表により、到達点ならびに進捗管理がより明確になり、改革への責任所在を一層顕著にするものです。



元気の源 温水プール

目からうろこの広報研修

2月14日、農業共済会館で兵庫県広報研究大会が開かれました。

講師には、メディアプランナーとして、また日本広報協会アドバイザーとしても活躍中の、白木一誠氏の講演を聞きました。

「あつてあたりまえから、なくてはならない広報紙へ……」と、広報づくりの課題やコツを。そして、「役所っぽい、固いばかりの言葉では読む気になれない。」「いかに、身近に感じられる記事を作るか」など、経験を生かした、専門家の知識を、わかりやすく教えていただきました。

今後の広報紙づくりに役立て、見やすく、わかりやすい紙面を作るよう努力していきたいと思えます。

手作りの卒業証書を

普及啓発で触れてもらう機会を



廣畑 幸子 議員

1300年の昔から作られている手漉きの杉原紙。宮内庁御用達として歌会始めに、またのじぎく国体では表彰状として2万枚が漉かれた。杉原谷小学校では、トロロアオイの栽培、こうぞの刈り



私の宝物 杉原紙の卒業証書

取りや皮ざらし。そして手づくりの卒業証書を。松井小学校はカレンダー。加美中学校はコサージュ。多可高校は国体応援のれんも。しかし、卒業証書づくりは、この4校でとまっている。

町内他の学校にも、卒業証書づくりを広げては。

町長

使ってもらう学校が増えることは望ましいことだが、押し付けはできないなという思いである。まず知ってもらい、触れてもらうことが大事なかなと思う。19年度で多可町の郷土学習の教材として、小学3年生・4年生を対象とした副読本を作成し、その中でも大きく取り上げている。

また、手で触れてもらう機会として、杉原紙の年賀状コンクールも行っており、参加校も増えている。今以上に普及、啓発を進めたい。

保育料軽減枠を

もっと広げては

廣畑 19年4月より、医療費無料は小学3年生まで拡大。第3子の保育料は3分の1など、子育て支援は充実しつつある。しかし、少子化が進む中、さらなる保育料の軽減を考えられないだろうか。町独自の少子化対策が、他の地域より充実していれば、

保育内容を

充実させる

若い世代へのアピールにもなる。それなら、多可町に思っていただければすばらしい。第1子からも、現在の国の基準の9割の保育料を7割、せめて8割にできないか。

町長

これは非常に慎重に検討せねばならない課題であり、施策全体の中での対応と考える。無論理に下げたまうと、上方修正が利かなくなる。

現下の状況としては、保育の体制・内容を充実させる中で、保護者のみなさん、お預かりするお子さんへのサービスの充実に努めたい。



大西 一好 議員

特別支援教育の推進について

共に学べる環境づくりを

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症等の障害に対して本年4月から特別支援がスタートする。

- ①各学校、教育委員会の支援体制づくりの現況は
- ②保護者の理解と協力、連携をいかに行うか
- ③コーディネーターの指名、位置づけ、職務内容について
- ④通常学級をベースに多様な教育展開となり、その対策は
- ⑤教員の仕事のスリム化をいかに行うか

教育長

障害のある児童生徒が増える中で、通常学級で共に学べる環境づくりをこの方針から多可町としては、これまでの取り組みに加えて、学校と保護者の信頼関係を深めること、施策の充実に努めていく。

幼稚園に複数担任制、すべての小・中学校にスクールアシスタントとスクールラブ、カウンセラー、先生のコーディネーター研修と校内委員会、専門医を交えての対応などきめ細かく取り組んでいく。

町立診療所の

経営改善を

大西 地域福祉への貢献と安心をもたらしている町立3診療所だが、合併前のままの経営体制であり、早急な経営改善が必要である。

そこで、①3診療所の運営方法および人件費の違いについて
②八千代診療所の診療体制と受診者数との関係
③八千代診療所の投薬方法のあり方、医師の負担になっていないのか
④モルゲンハイト八千代を計画的、効果的に活用しているか、管理運営はどうか

診療所は町直営が望ましい

望ましい

町長

①加美区は町の直営、八千代区は町の施設で医師に運営を委託している。委託料の中で看護師、事務員を雇ってもらっている。
②2名体制だが、1名体調不良のため1名の医師で診療。

良のため1名の医師で診療。水曜日が休診、火曜から金曜日は午後も診療している。
③薬剤師が不在のため、院内薬局で医師に任せている。医師への負担にはなっている。
④医師が委託料の中で管理人を採用。夜間管理人が不在で閉館しており、今後は直営管理で利用しやすいよう考える。



受付窓口(八千代診療所)

安全安心の施策のあり方を問う

安全安心は地域と協力して



安藤 弘道 議員

町是として、安全安心の施策が広く多く取られている。『今回も複数の視点で捉えた安全安心の施策の追及を』と語られている。担当する課により視点が異なり策も違う。その事象の一つが登下校通



ドライバーも歩行者もヒヤッとします（加美区豊部）

- 学路が違う郷領の小学生。
- ①交通安全か、不審者対策か
 - ②国道狭小の区間制限速度の引き下げは。豊部、轟、清水
 - ③500kmにおよぶ町道の安全・安心の施策は

教育長

①通学路の設定は、区長・交通委員の意見や情報を参考に学校とPTAで協力しコースを設定している。交通上の安

全と不審者への対策には万全を期しており、今後とも地域と共に取り組んでいく。

②速度制限については、地元要望があれば、町の方から公安委員会、西脇警察署等に要望し、許可が下りれば制限ができるが、他路線との整合性交通量も加味される。

③国や県は道路パトロールカーが常時巡回して監視している。町職員も地域局も含め、随時回っている。

ごみ減量

20%大作戦 ①

新しい分別、容器包装プラと、ペットボトル収集の有料化が始まっています。



	午前	午前
午後		

不燃ごみステーションに出すのは、ペットボトル以外、今まで通りです。

収集時間帯



午前		
	午後	午後

収集時間帯





門協 幸澄 議員

入札制度改革と 地方債の削減を

入札制度の適正化に取り組む

現在多可町の地方債の残高は一般会計で189億円、特別会計で135億円、計324億円もある。これは町民1人当たり76万円、1世帯当たり259万円の借金だ。

これらを減らすためには長年デフレが続く中、入札制度改革による公共工事の縮減と経費削減が急務だ。

- ①入札制度の抜本的改革と財政再建計画を示すべきだ。
- ②談合防止と公正性の確保のため7点の改革を提案するが実行する意志はあるか。

助役

必要なものを、適正な工法や技術、自主設計による適正な実施価格の設定により、経費の削減につなげていく。

また、国から地方公共団体に入札契約の適正化の指導がされている。すぐに一般競争

入札の取り組みが困難な自治体には、当面1年以内に実施することになっている。しかし、課題も多く、実施に向けて要綱の制定に取り組む。

矢祭町の役場改革に

学び改革を

門協 2001年に「自立宣言」をし、合併しない町

で全国的に有名になった福島県矢祭町は、町長の給料を課長と同額にし、職員と議員の数を大幅に減らした。それらの改革で数億円の歳出を削減し、出生祝い金(百万円)や妊婦検診を無料化し、保育料も半額にした。また窓口業務にフレックスタイム制を導入し、出張役場制度で住民サービスを向上させた。企業誘致にも成功し、基金を4年間で倍増させた。この改革に学び、役場改革を強力に実行すべきだ。

多可町の改革を 目指す

目指す

町長 矢祭町のある福島

県は、県の姿勢として、合併をしない町を支援していく方針を取られていた。兵庫県の場合は合併するところを支援していたという、状況背景が違っていたと思う。

ただ矢祭町でやられた改革は、町が生き残るための必死な思いが伺える。一つ一つは述べられないが、今後の参考にさせてもらおう。



気軽に声をかけてくださいね(役場窓口)

指名競争入札の現状

入札の適正化に取り組む



小牧 勝 議員

多可町では、指名競争入札を導入しており、助役を長とし自治体が、その資力・信用・実績・その他について適当であると認める複数以上の者を選択により指名されるが、指名業者の資格要件はどのようなものなのか。

総務・国土交通省では、すべての自治体で一般競争入札を導入すると打ち出しているが、多可町の今後の対応は、実施すると地元業者が落札しにくいのでは。

助役

指名審査に参考とする資格要件は、「多可町建設工事入札参加者選定要綱」に規定している。根拠となる情報は、調査量から独自調査は困難で、財団法人の建設業技術センターの情報を利用している。公共工事発注者を支援する情報サー

ビスで、16年度で2119の公共団体が利用している。また入札契約適正化については、その内容についてすでに検討中であり、地元業者の取り組みなど問題点も整理していく。

敬老の日を

考え直そう

小牧 「長寿・健康・元氣」を願って、祝い敬うことは、大変良いと思う。

人は、誰でも自分の存在意識、向上心を感じたときに、もっとも幸せを感じるのではないか。

お年寄りのこれまで築き上げてきた体験や豊富な知識、能力を利用しない手はない。また、保育園・幼稚園・小学校の子どもたちとの交流も考えてはどうか。



楽しく元気に笑いましょう（八千代区）

感謝の気持ちを

表したい

町長

豊かな経験をお持ち

ちの方々のお知恵をお借りできればと思う。敬老会については、去年は初めてで試行的な部分もあり、各集落でやっていた。また集落が集まって校区でされたところもある。

対象者が多く、1箇所で行うことは困難であるが、ただお祝いを言って終わるといふことでなく、何か工夫を凝らし、町として感謝、敬老の精神、気持ちを表せたらと思う。これから十分中身を検討したい。



高澤 栄子 議員



地域協議会合同会議

地域協議会の 方向性を示せ

特性を生かした計画を

中・八千代・加美区を自治区とし、そこに地域協議会が置かれたが、その活動もまちまちで、姿・形が見えにくい。

協議会は、住民自治の「要」にもなり得るものだが、行政として、方向性が示されていないのではないか。

また、もともと自治機能を有している集落や区長会の2階的な存在と化しているが、これらとの整合性も必要である。協議会を、今後はどう構築していくのか。

町長

区によって、地域協議会の取り組み内容がかなり違う。合併によるマイナス面を少なくしたいとか、地域特性を残しながら作り上げていくとか、どうあるべきかなかなか見えにくい。

それぞれの地域協議会で、その自治区がどうなればいいのか、計画作りをしてもらうことを今年1年のテーマとしてもらおうと思う。全体を網羅できるように予算組を、19年度の予算で提案させていただいた。

中区にも中区 担当の部署を

高澤 中区に本庁が置かれているが、本庁はあくまで本庁であり、多可町全体を包括するものだ。

加美・八千代区に地域局があるように、中区にも中区のことを専属に行う部署は必須である。中区の住民にとって、地域担当の部署が置かれ

ていないのは、不利益をこうむっているといえる。3つの区があるのだから、それぞれに、その区を所管する部署があるのは当然だ。

地学地創をめざす

町長 加美区、八千代区に地域局がないのと、中区に地域局がないのは重みが違うし、本庁がある。19年度については、今を踏襲し、1つの課の中に中区担当を明確にし、それでなお効果が上がらないときは、中区の地域局というのも考慮せねばならない。

地域局、地域協議会等の場を通し、その区から学ばせていただいで、特性を創り上げる。

そういう方向「地学地創」を目指していきたい。

予防医療の対策強化

ドック助成額アップも検討



秋田 清 議員

国民健康調査によると、8人に1人は何らかの病気やケガを上昇している。また一方、何らかの健康法を実行している人は、全体の70%を占めている。健康は、誰がつくってくれるものではなく、自身自身でつくりなければならぬ。そこで、病気を早期発見のため、人間ドックや脳ドックによる健康診断を積極的に推進する考えはないか。

また、推進することにより国保財政や地域医療体制にも役立つのではないか。

町長

健康は自分で守っていくという意識を持ってもらいたい。そして、合併後受診率の下がった町ぐるみ健診の受診を、健康を守る第1歩として町民の方に呼びかけたい。

現在、人間ドックの費用助成として、一人当たり8,000円、婦人検診に別途2,000円をプラスして補助をしている。

予防医療という面からもドックは非常に重要であり、積極的なPRと、今後助成額のアップも検討していきたい。

町税、国保税等の 収納率向上対策は

秋田 町の財政難の要因となっている、町税や国保税等の滞納額を縮減することにも、今後本格的に始まる三位一体改革による税源移譲を見据え、徴収体制を強化し、収納率アップが急務になっていくと思うが。

県においても、2007年度から県職員らによる「整理回収チーム」をつくり、市町と協力し徴収率アップをめざすようだが、本町もその制度を利用しての徴収率アップを考えてはどうか。



徴収率アップで財源確保

積極的に県と 連携を取る

町長

町税・国保税等の徴収率の向上については、徴収体制を強化する必要がある。大きな課題だと認識している。

税務課長

特別支援班については、住民税を含む税を对象としており、今後積極的に県と連携を取りながら、住民税が関係する滞納者の方については、積極的に対応したい。



竹本克之議員

食育のまちづくり

食育を推進し、広げていく

平成17年に食育基本法が制定され、特に子どもの健全な心と身体を培っていくには『食』が重要と強調し、国の責務から保護者の役割まで広範囲な定義付けがされ、各地各組織の活動を促している。多可町においても基本計画策定段階と推察し、次の3点にしほり町長に伺う。

- ① 食育の組織づくり
 - ② 食育の拠点づくり
 - ③ 特色ある食材づくり
- 安全安心の町づくりの視点でリーダーシップの発揮を願う。

町長

多可町では、望ましい食生活の実現に向けて、町民一人ひとりが食について関心を持ち、自ら考える習慣を身につける食育を推進している。

① 地域の中で自主的に活動されている団体もある。これが



上手に切れました（食育サークル）

廃食油の再生で

クリーンな町づくり

他にも広がっていくように推進したい。

② 今ある施設を活用しながら幼児期の食育に取り組んでいる。このまま続けたい。

③ 地元で生産される安全な農作物を、地元の食卓へ届ける地産地消を進め、生産者と需要数等を協議していく。

竹本

家庭や商店で発生する、天ぷら油の行方は焼却処分になっている。しかし、精製することにより軽油に匹敵するエネルギーを有し、かつ公害発生が極めて低いバイオディーゼル燃料として活用できることは周知のとおりであ

バイオマス構想に

生かしたい

地域協議会や婦人会・環境を訴える各組織が、再生を強く訴えているこの時に、作成中の多可町バイオマスタウン構想に加え、資源再利用でクリーンな地球環境づくりの町長の考えを伺う。

町長

中区の地域協議会で、BDFの取り組みを研究されており、使用済み天ぷら油の回収システムとBDFの利用推進の協議がされている。「バイオディーゼル燃料の取り組みを」という提言も受け、バイオマスタウン構想にも生かそうと考えている。

地球温暖化や環境問題を広く住民の皆さんと共有していくという視点からも、前向きに進めたい。

「意識改革」具体的に

職員自らの変化が必要



池田義孝議員

町長の所信表明に関して
 a 「時代の変化を先取りする発想や手法」
 b 「職員の意識改革」の必要性を切実に感じた。とあるが、具体的にどのようなことか。



多可町役場庁舎

気づくのが遅すぎると思うが。
 c 役場職員に住民から疑いの目で見られたり、抗議を受ける様な事例があったと聞くと、職場士気の低下に繋がる。住民の非難の的になり、懸命に働く他の職員や若い職員がかわいそつだ。

町長

a 職員の資質を高めていくことに着手する。民間感覚が学べる職員研修を行い、行政サービスの充実につなげたい。
 b 「前例踏襲」に代表される旧来の行政慣行では急激な時代の変化に対応できない。職員も変化せねばならない。
 c 役場職員が疑いの目で見られること自体が恥ずべきことで、抗議を受けるような事例にあっては厳に戒め、再発を防止していく。公務員として職員の自覚を促す基本研修や職場の綱紀粛正にも力を入れていく。

ゴミ減量

20%大作戦 ②

指定袋が新しくなりました。種類もふえています。

●指定袋の価格と容量

「可燃ゴミ」を出すときの指定袋

種類	色	入る量	枚数	金額
可燃ゴミ用	(大) 黄色	45ℓ	10枚	350円
	(中) 黄色	30ℓ	10枚	250円
	(小) 黄色	20ℓ	10枚	150円

「容器包装プラ」と「ペットボトル」を出すときの指定袋

種類	色	入る量	枚数	金額
容器包装プラ、 ペットボトル兼用	(大) 透明	45ℓ	10枚	250円
	(中) 透明	30ℓ	10枚	150円

以前使っていたシールが残っていたら、指定袋と交換できます。場所は「多可町役場」「加美地域局」「八千代地域局」です。お早めに。



辻 誠一 議員

医師確保の給与格差の 是正は必要額全額を

町の支援は必要不可欠

この多可町でも医師不足の波がいよいよ押し寄せてきた。北播磨医療圏でも医師の取り合いが懸念される。

医師を確保するためには、国の施策転換が何よりも必要だが、それを待っているだけでは不十分である。

中町赤十字病院運営協議会でも提案した、医師を確保するための給与の格差是正をするための町としての支援は、必要額全額を支援してこそ意味があると思うが。

町長

明確にまだ答えられない。
えられる状況ではない。

まずは医療確保対策審議会
で素案を練り、それから議会
と相談し決定していきたい。
報酬格差は、町が何らかの支
援をする対応が必要と思う。
また、町も医師確保について、

情報発信をしようと思ってい
る。

日赤を支援し、この地域の
医療を守り抜かないといけな
いという思いのなかで、最大
限の努力をしていきたい。

小児科医師確保を 町の主要施策に

辻

今全国で小児科医
が特に不足をしている。兵庫
県は、小野市民病院を小児科
医療の中心に据えようとして
いるが、多可町民にとってそ
れは受け入れることのできな
いものである。

もちろん日赤への支援の中
で小児科医を確保することは
当然だが、それ以外にも、町
立の小児科医院の設置など、
町として開業希望医師の誘致
に全力をあげるべきでは。

早急な対策を 講じたい

町長

小児科の町立診療
所開設の考えはない。医師自
身もご自分で開業したいとい
う思いだと思う。

町立診療所だと、拘束をう
けるといふ思いも持たれる。
開業医さんの支援ということ
で具体的な方向は出ていない。

ただ遊休地の提供や、民間用
地を購入時に、手続きをお助
けすることも支援だと思っ
この問題も、早急に医療確
保対策審議会や議会と相談し、
進めさせていただきたい。



大きくなったかな（4か月児健診 アスバル）

地域局の機構改革と 思いきった人事を

指揮命令は一本化、しばらくは駐在



山口雄三議員

加美・八千代地域局の窓口業務と福祉部門は残し、産業建設部門等事業面は本庁へ集約した方が、効率が良いのではないかと。また、幹部職員人事はいつ



明るい笑顔で対応します（加美地域局）

までも合併協で決めた人事ではなく、早く戸田カラーを前面に出し、年功序列をやめて若手も登用し、適材適所の人事をしては。

町長

産業課・建設課の業務は、全部本庁に移すのが望ましいが、ただ本庁にスペース的な問題がある。しばらくは加美、八千代地域局に駐在という形を取り、指揮命令は一本化にするという形を取りたい。

また幹部職員の人事は、適材適所ということで、若手の登用も取り入れていきたいと考えている。

不用な借地を 整理すべき

山口

中区26箇所、加美区12箇所、八千代区96箇所と、借地が多くある。

地域局の職員数も減り行事や会議等も少なくなっている。不用地があると思われるので、早急に精査され返還してはどうか。

不用地の把握を

町長

今現在、不用地がどのくらいあるのか十分な把握はできていない。返還が必要なものがあれば、時期が来てなくても調整していきたい。

総務課長

今年、行政改革大綱や集中改革プランの中にも借地の見直しをうたっている。19年度に予定をされている庁舎等があり方検討委員会にも、公共施設の統廃合に伴い不用地になった公共用地の処分についても、検討をいただいで方針を決めたい。

地域医療の現状



3月20日に開催された地域医療フォーラム（ベルティーホール）

研修医制度の改正により、医師の大病院離れと、都市部の大病院への集中が進み、地方の中小病院の医師不足が深刻化しています。北播近隣市町の総合病院でも、極端な医師不足が発生しています。地元中町日赤病院も、4月からは整形外科を休診するほか、病院機能を大幅に低下ま

たは縮小せざるを得ない状況に陥っています。多可町としても、この危機的な状況が、少子高齢化に与える影響はとても大きいものがあります。多可町として、住民が安心して暮らせるよう、医師確保などの支援に乗り出しています。

医療現場の状況や多可町の現状を知っていただくため、フォーラムが開かれました。



医師確保の手段や

開業支援として

- ・住民より、町内や近隣市町出身の医師情報を提供していただきたいと思っています。
- ・町内で開業を考えておられる方には、遊休地の提供や、民間地の情報提供、手続の手助けなどを考えています。
- ・日赤では、インターネット

で、医師募集を全国発信しています。その他開業医に対しての支援も検討中です。

さわやか インタビュー



4月13日に、中区靴屋にある社会福祉協
議会で開かれている、「なかよし広場」に
広報委員がおじゃましました。



問 子育て真っ最中のお母さん方が気軽に立ち寄り、子どもを遊ばせることを通して、いろんなお母さんとお話をしたり、友達になれる、そんな場所だそうですね。

答 この日来ていただいたお母さん方にお話を聞きました。

問 皆さんは、ご両親と同居されているのですか。

答 はい、同居しています。
・偶然、今日来ている人はみなさん同居ですね。

問 同居のいいところは、忙しいときは、子どもを

見てもらっていて、とても助かります。

問 合併して1年半くらいになりますが、何か身近で合併を感じますか。

答 そうですね、子どもの予防接種が町内一カ所でまとめてされるので、人数が多くて待ち時間がありますね。

問 生活で気になっていること、関心のあることは何ですか。

答 ・一番身近なことは、やっぱり子どもが病気になったときに、すぐにお医者さんに診てもらえるかどうかということですね。
・新聞などにお医者さんが少ないと載っていますが、どうなるのか心配です。
・行政に何とか、がんばって

もらいたいです。

問 他にないですか。

答 ・まだ子どもが小さいですが、教育ですね。いじめ問題とかテレビで見ると、多可町はどうなのか、気になります。

問 議会だよりを読まれたことはありますか。

答 ありませんよ。最近では小学3年生まで医療費無料化の記事を見ました。でも、難しいものものは、つい敬遠しますね。申し訳ないですが。

問 議会・議員に望むことは、ありますか。

答 あまり身近な存在じゃないかもしれませんが、もう少し関心を持たないといけないですね。

親しんでもらえ、身近に感じてもらえる議会にしなければいけないと痛感しました。そして、読みたい広報を目指してがんばります。
ご協力くださったお母さん方、ありがとうございます。

編集後記

新緑の季節、新一年生の背中には大きすぎるランドセルもようやく馴染み、元気な歓声とともに、集団で通学する姿が微笑ましく思えます。事故なく登下校できるようにとのサポートの見守りに感謝します。

四季を通して、一番快適で過ごしやすいこの時期、自然環境の変化なのか、アレルギー性鼻炎（スギ花粉）で苦しむ方々には、特に憂うつな時期でしょう。

5月の連休と共に、忘れたように終結するのではと思っ

ていますが。
多可町の豊かで穏やかな田園風景にも、加美区山寄上よりそろそろ田植の表情が出てきます。今年も災害なく、収穫期を迎えられるよう祈るばかりです。

第6号は、19年度予算を中心に載せています。ご意見・ご感想など寄せていただければ幸いです。